

WG05 動態管理プラットフォーム (traevo platform) の社会実装と活用

2025年度 方針発表

動態管理プラットフォーム（traevo）を活用した持続可能な物流の実現

リーダー： WG05 株式会社首都圏物流 駒形 友章

サブリーダー： WG05A AGC株式会社 田中 真史

WG05B 株式会社アスア 間地 寛

WG05C イーサポートリンク株式会社 石井 崇博

動態管理プラットフォーム（traevo）を活用した持続可能な物流の実現

＜WG05A共同輸送ユニバーサルシステム「traevo noWa」活用分科会

輸送力不足による需給逼迫に対して、共同輸送ユニバーサルシステム「traevo noWa」を活用した積載効率向上と環境負荷低減を推進し、その先のフィジカルインターネットを目指す。

＜WG05B＞動態管理プラットフォームを活用した積載効率の改善 とカーボンニュートラルの実現分科会

動態管理プラットフォームの普及と活用により荷主企業や運輸事業者の課題解決実現し、持続可能な物流や公共交通の実現を目指す。本分科会(カーボンニュートラル分科会)では、運行データと積載伝票データを連携させ、CO2排出量を可視化することで、積載率の向上、経路の最適化、荷待ち時間の削減等を行い、物流政策パッケージの実現とサプライチェーン全体でのカーボンニュートラルを目指す。

＜WG05C＞持続可能な農業を実現するための青果物流の課題解決分科会

誰が・いつ・どこに取りに行くか見えない属人的な手配や、荷主ごとに異なる非効率な集荷対応を、現場と共に“見える化・共有”し、商流と物流の連携による持続可能な生鮮物流モデルを目指す。

WG05Cメンバー（順不同）



事業者会員 3社（+ 2団体）

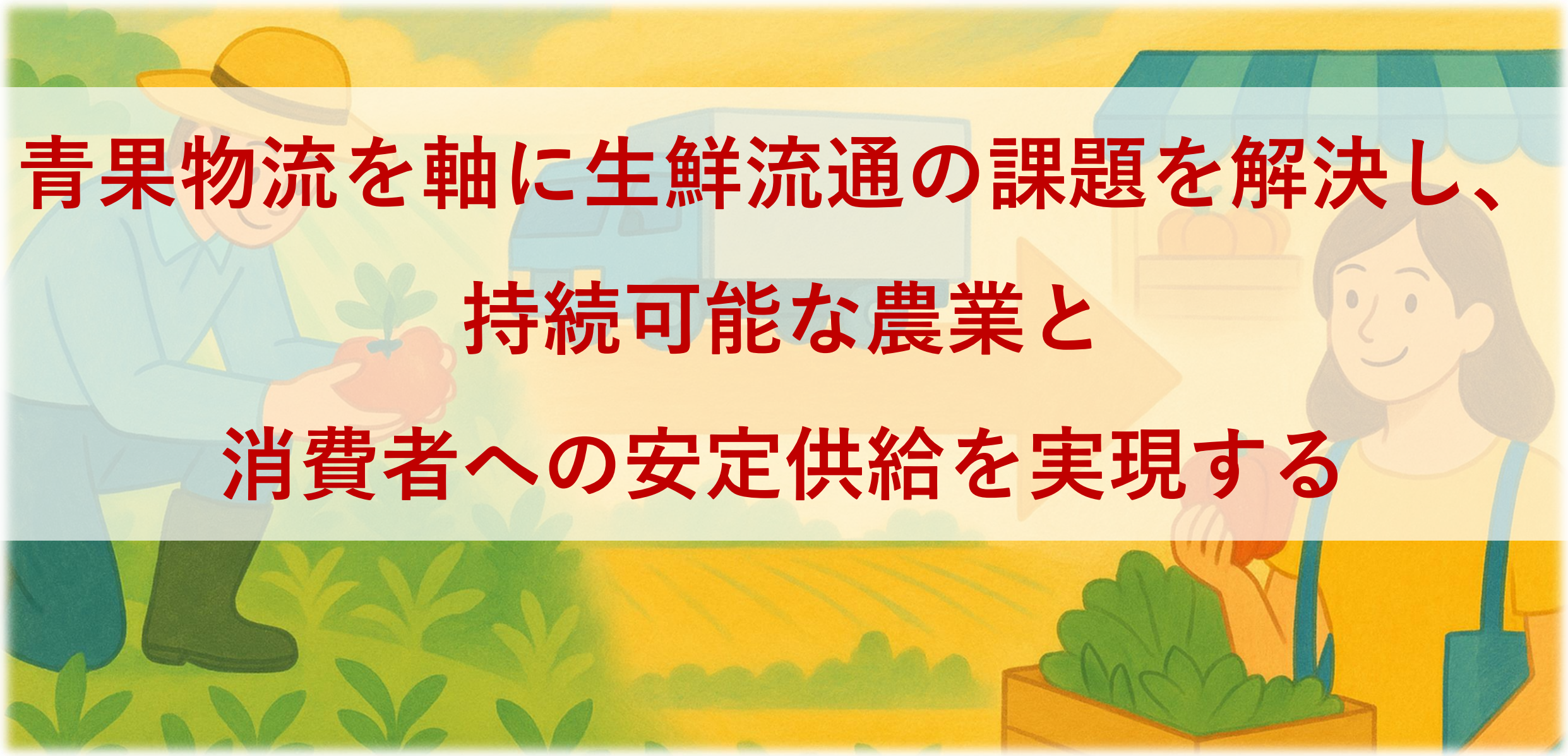
株式会社アルプスウェイ
株式会社首都圏物流
千曲運輸株式会社
(団体)
青果物物流DX推進協議会
学校法人 東海大学

サポート会員 12社

イーサポートリンク株式会社
N S W株式会社
JFE商事エレクトロニクス株式会社
株式会社商工組合中央金庫
都築電気株式会社
株式会社デンソー
株式会社デンソーソリューション
パーソナル情報システム株式会社
フィン・バイ・テック コンサルティング
物流企画サポート株式会社
LocationMind株式会社
株式会社LOKIAR

パートナーシップ会員 1社

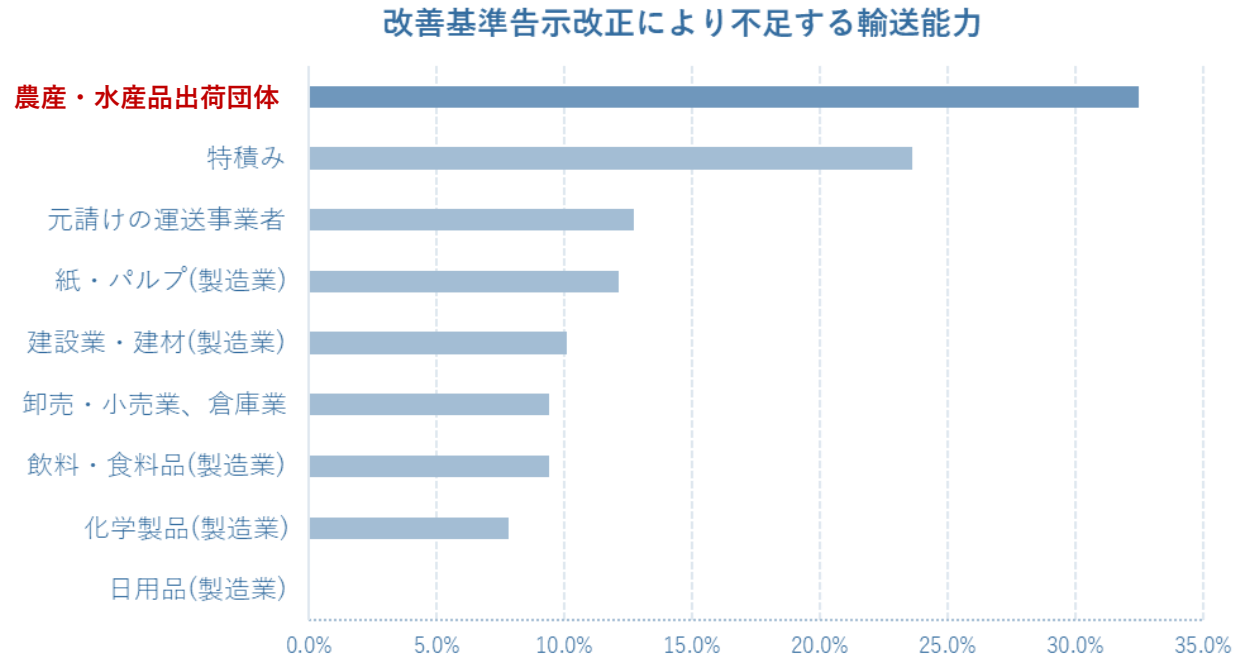
株式会社バローホールディングス

The background illustration depicts a rural scene. On the left, a farmer wearing a yellow hat, a light blue long-sleeved shirt, and green rubber boots is kneeling in a field, holding a red apple. In the center, a blue delivery van is parked. On the right, a woman with brown hair, wearing a yellow shirt and blue overalls, is holding a red apple. Behind her is a wooden crate filled with green leafy vegetables. The entire scene is set against a warm, yellowish-orange background with soft, stylized green bushes and trees.

**青果物流を軸に生鮮流通の課題を解決し、
持続可能な農業と
消費者への安定供給を実現する**

1

2024年問題の影響により、
他業界と比べて輸送能力が不足する



参照：株式会社NX総合研究所「物流の2024年問題」の影響について（2）

2

1日の拘束時間が原則13時間以内になるため
当日輸送できなくなる地域が増える

各地から東京までの距離とトラックの輸送時間



※点線：北海道からのトラック輸送形態(トラック→フェリー→トラック)
出典：農林水産省生産局「青果物流通をめぐる現状と取組事例」

3

他にも手積み手降ろしが多い、季節ごとの波動が大きい、小口が多い、
鮮度が重要でリードタイムが短い、長距離輸送が多い、商流が独特など様々な課題がある業界

2025年度に取り組む課題

○ 物流企業

- ・ 配車業務が属人的で、担当者の経験に依存する
- ・ 協力会社を含めた物流網が明確でない

配車担当者が休暇のため、
どの車両が空いているか
分からない...

どの協力会社が
どこまで対応できるのか
分からない...



○ 荷主

- ・ 物流会社の集荷・配送可能エリアが不明
- ・ 商品の商談成立後に物流で集荷不可と言われてしまう
- ・ どの物流企業に依頼すれば良いか分からない

せっかく商談が
決まったのに運べない...

どこの物流会社に
依頼すればいいか
分からない...



課題の本質は？



情報の“壁”が連携を妨げている！



発荷主・着荷主



ブラックボックス



物流企業



ブラックボックス

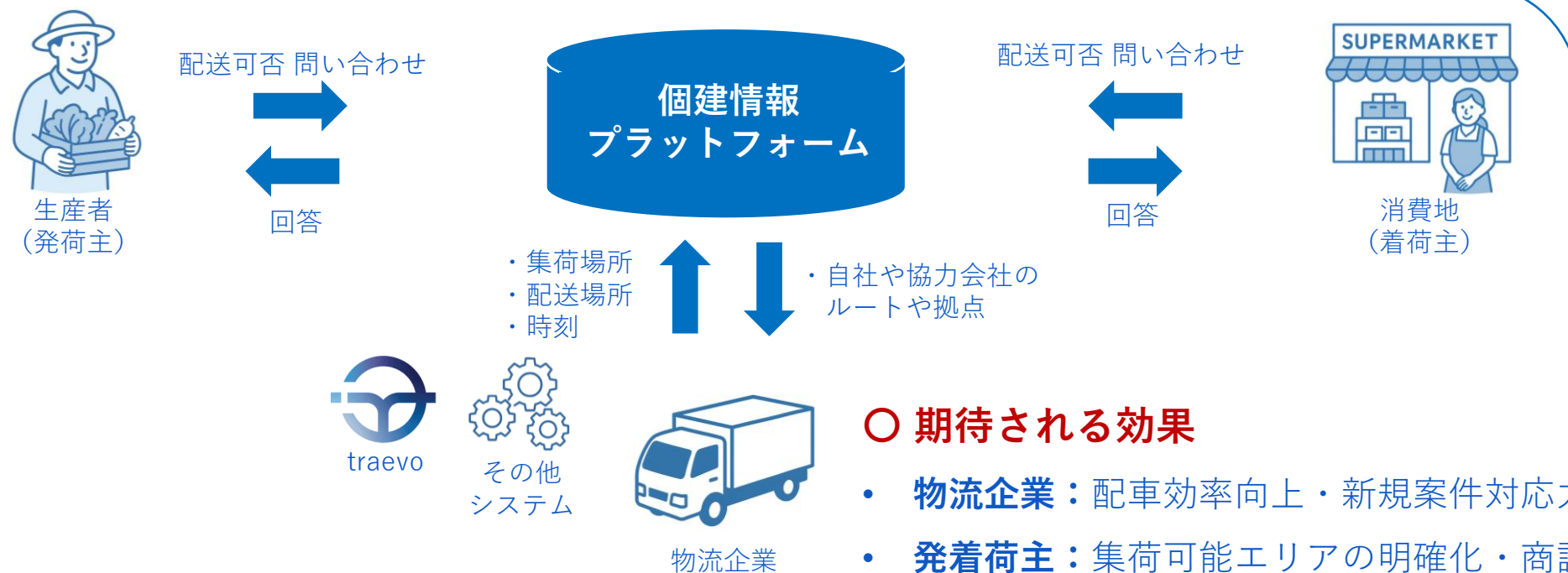


協力物流企業

WG05Cで目指す姿と解決の方向性

- **視覚化**：誰が・いつ・どこで集荷・納品するかを視覚化
- **共有**：発着荷主・物流企業・協力会社が同じ情報を参照
- **連携**：商流と物流をつなぐ共通プラットフォーム

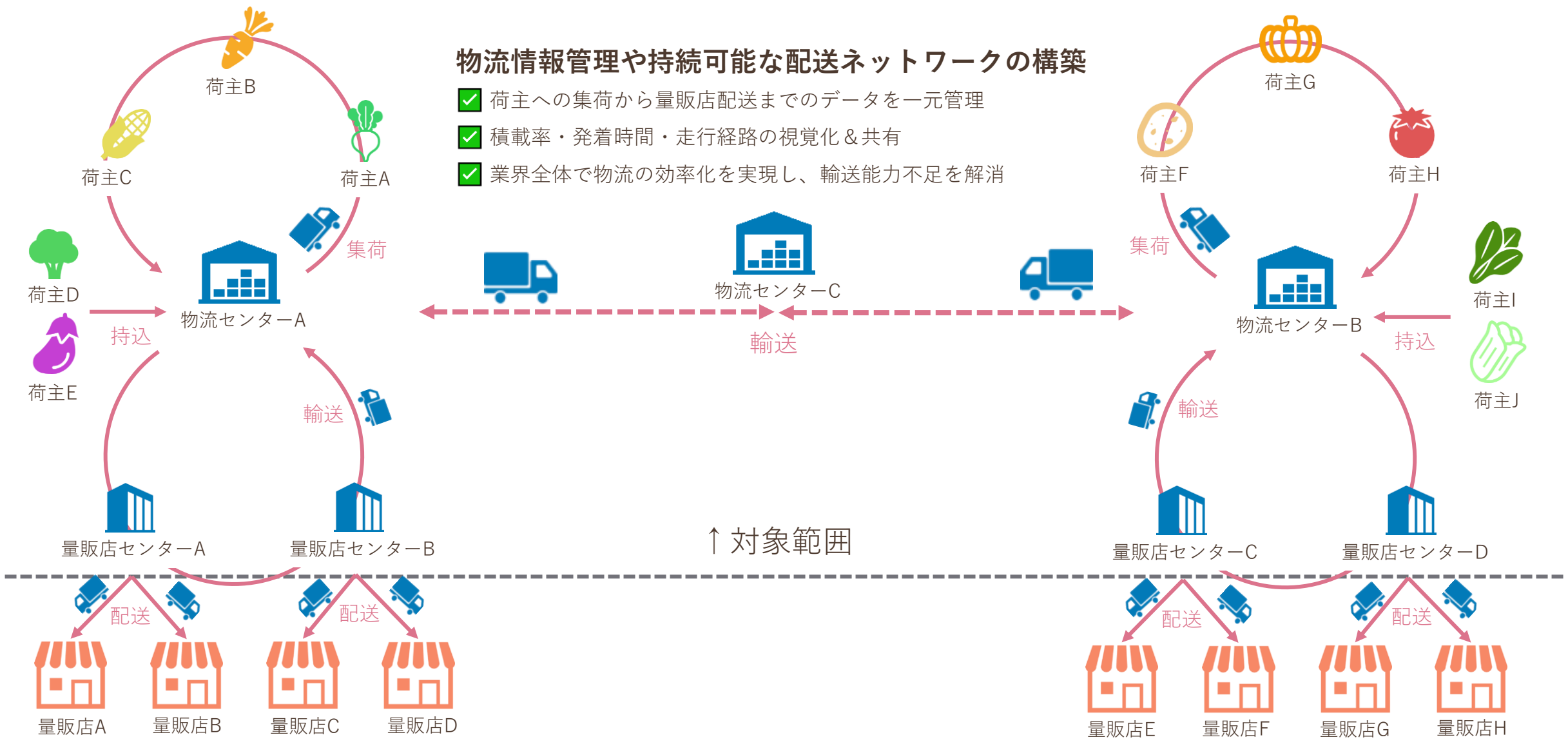
個建便マッチングプラットフォーム



○ 期待される効果

- **物流企業**：配車効率向上・新規案件対応力UP・協力会社との連携強化
- **発着荷主**：集荷可能エリアの明確化・商談成功率向上・運賃の適正化
- **業界全体**：持続可能な青果物流モデルの確立、農業の安定経営に寄与

青果流通ネットワークのイメージ



システムのイメージ

イーサポートリンク株式会社にてtraevoデータを活用した生鮮物流情報視覚化のシステムを開発中



前半：WGメンバーのデータ共有・検証

- ・参加企業の生鮮流通に関する取組みの紹介
- ・参加企業の情報収集：参加いただく発着荷主・物流企業の拠点・ルート情報を共通プラットフォームに登録

後半：検証結果の分析・発表

- ・実証実験：共通プラットフォームを活用した効率的な個建便への切り替え
- ・荷主とのマッチング：物流ニーズを持つ荷主と物流企業をプラットフォーム上でマッチング
- ・効果分析：個建便導入にる効果を分析
- ・ユースケース整理：共通プラットフォーム活用の成功事例と想定活用シーンを整理



持続可能な運輸業界を目指し次なるステージへ

WG05Cの取組内容に興味がある方は

ぜひご参加ください。

ご清聴ありがとうございました。



一般社団法人 運輸デジタルビジネス協議会

<https://tdbc.or.jp/>

unyu.co@wingarc.com

03-5962-7370

X(旧Twitter)公式 @TDBCJP

協議会スポンサー

